

事務事業評価表(既存事業)

コード 13-2-7	事務事業名 姉妹・友好都市とのスポーツ交流	所管部課 生涯学習部スポーツ振興課					
事務事業の概要	事務事業の目的 姉妹都市・友好都市とのスポーツ交流事業を通して、西東京市民と下郷町民・北杜市・勝浦市民も含めた相互理解を深めスポーツ交流を図る。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)スポーツ・レクリエーション活動の振興(創3-3) (主要施策)スポーツ・レクリエーションの普及					
	実施内容、実施方法 毎年、スポーツ交流種目を決めて体育協会をはじめスポーツ関係団体の協力を得て参加者を募り交流を行なう。貸し切りバスによる役員・選手を派遣し交流する。競技種目については、1～2種目で行なっている。	根拠法令等 スポーツ振興法					
	事業開始時期 平成 14 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
評価指標の設定	活動指標名 開催回数	活動指標の考え方(定義) スポーツ交流事業を開催した回数(3～6種目実施)					
	成果指標名 参加者数	成果指標の考え方(定義) スポーツ交流事業に参加した人数					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		643	833	1,094	1,286	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		643	833	1,094	1,286	
	所要人員(B)	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	825	827	833	833	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	1,468	1,660	1,927	2,119	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(参加者数)	千円	17.47	16.77	14.71		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	回			1	1
		実績値	回	1	1	1	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	人			120	120	
	実績値	人	84	99	131		
成果指標	目標値						
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	スポーツ交流事業として市を第費用して参加しているの、宿泊費も公費負担を希望する団体もある。現行は、バス借上げのみ公費負担している。					
	国・都・他市・民間等 における類似事業						
	運営上の制約条件・ 外部要因等						

コード 13-2-7	事務事業名 姉妹・友好都市とのスポーツ交流	所管部課 生涯学習部スポーツ振興課
---------------	--------------------------	----------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	平成14年度から16年度まで7種目114人の市民が参加し、スポーツ交流を図った。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	スポーツ交流を通じ相互理解を図ると共にクラブ間交流へと発展し初期の動機付けの役割を果たしている。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	スポーツ交流市や町の体育協会の組織規模が異なるため、参加する種目が限られて来ている傾向にある。今後、一般市民も含めた交流も検討する必要がある。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	より多くの市民が参加する機会を与えることにより充実が図れる。ただし、交流種目が限定され参加者の拡大には至っていない、今後継続して行くためには個人での参加ができる方法に転換して行くことも必要である。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	初期の目的は概ね達成していると思われることから、今後の継続については検討の必要がある。

17年度における改善点	参加団体との調整等が必要であり実施日の設定も配慮する必要がある。
-------------	----------------------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。